

# 地域医療連携News

平素より中国労災病院が大変お世話になり、誠にありがとうございます。

地域医療連携News第184号を発行致しました。今後とも連携の程よろしくお願い申し上げます。

## 中国労災病院理念

働く人と地域の人のために患者中心の良質な医療を提供します。

## 中国労災病院の基本方針

- 個人の尊厳と権利を尊重し、高度で安全な医療を推進します。
- 地域の医療機関と連携し、救急・急性期から慢性期までの一貫した医療を実践します。
- 最新の医学に基づいた専門的な医療を実践します。
- 働く人の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
- 周産期医療を充実させ、未来を担う子供たちを支援します。
- 優れた人材を育て、働きがいのある職場づくりを推進します。

## 初期臨床研修の理念

当院の初期臨床研修の理念は、崇高な信念と人格をもち、基本的な診療能力及び生涯にわたり自己研鑽する態度を身に付けた自立した医師を育成することです。

## 初期臨床研修の方針

- ①患者中心の思考・行動をする姿勢を持つこと。
- ②救急医療やプライマリケアなどの診療能力を修得すること。
- ③他の医療スタッフと協調し、安全で質の高いチーム医療を提供すること。
- ④地域のかかりつけ医と連携し地域完結型の医療を学ぶ。
- ⑤症例を通じて、診断・治療の結果だけではなく、プロセスを学ぶ。

## 1. | 摂食嚥下支援チームの開始について

今回は当院の摂食嚥下支援チームの活動について説明させていただきます。令和2年度の診療報酬改定にて新しく追加された「摂食嚥下機能回復体制加算」は、令和4年度の改訂にて施設基準が若干変わり、それに伴い当院においても昨年10月より「摂食嚥下支援チーム（SST）」を立ち上げ、摂食嚥下機能回復体制加算2の算定を開始しました。

## | 活動について

当院における摂食嚥下支援チームは、耳鼻科医師、摂食嚥下認定看護師、管理栄養士、言語聴覚士の4名で構成されています。耳鼻科医師は嚥下内視鏡検査を実施し嚥下機能の評価および摂食嚥下支援計画の提案を行います。認定看護師は各病棟看護師から嚥下障害のある症例を拾い上げ摂食方法の指導を行い、管理栄養士は栄養状態の評価や摂食状況の

確認を行います。言語聴覚士は嚥下リハビリを実施し経口摂取時のリスク管理や嚥下機能の経時的な評価を行っていきます。毎週木曜日に各病棟のラウンドを行い、カンファレンスを実施する事で患者の情報を共有しています。時には患者や家族の要望に応じて実際に嚥下内視鏡検査の画面を見ていただきながら、現在の嚥下能力や患者に適した食事形態などについての説明を行うこともあります。



図1 摂食嚥下支援チームラウンド

## 半年間の取組の中で

昨年10月の活動開始から今年4月までの半年間に  
介入してきた患者数は全66名となります。当院の  
患者は高齢者が多く、  
全体の57%が80歳を超  
える超高齢者でした

(図2)。加齢性変化を  
基礎に様々な病態が混  
在しており、加齢に伴  
う筋力低下、認知機能  
低下に伴う食思不良、

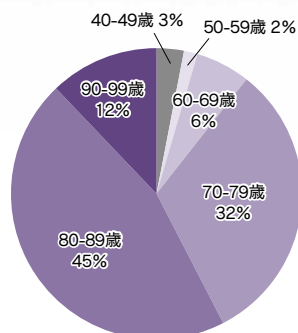


図2 患者の年齢構成

長期絶食に伴うサルコペニアなどが絡み合いながら  
嚥下能力の低下をきたしており、何か一つ改善すれ  
ば嚥下の状態が上向くといったようなケースは非常  
に少ないと感じました。

介入効果としましては、64%が経口摂取の状態  
で退院となりました。しかし、代替栄養すらも困難  
な症例は24%となります(図3)。栄養状態や認知

機能の低下から胃管や  
胃瘻も困難となった症  
例や、本人・家族の希  
望により胃管や胃瘻で  
の栄養補給方法を望ま  
ず、末梢点滴のまま転  
院や自宅に帰るといつ

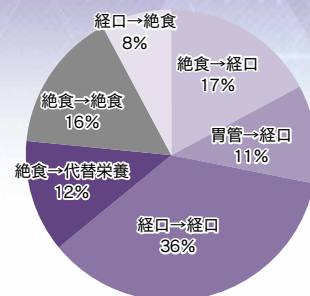


図3 介入効果

たケースです。絶食や代替栄養の状態から経口摂取  
へ回復した患者は28%、入院し食事を開始後にム  
セや痰の増加があり介入を開始、嚥下訓練や食形態  
の評価を行って経口摂取のまま退院となったものは  
36%となりました。

来年度の医療介護同時改定でも口腔・栄養はテー  
マに上がっており、嚥下への積極的な介入は今後ま  
すます求められるものだと考えます。

今後とも中国労災病院をよろしくお願いいたします。

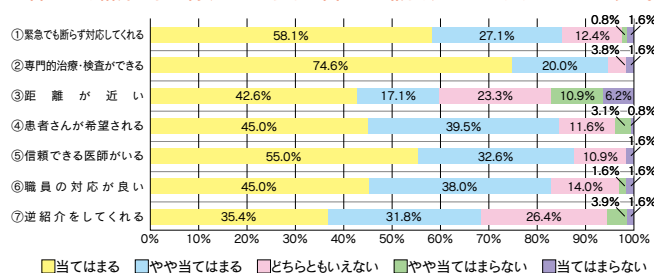
(中央リハビリテーション部 言語聴覚士 金子 浩二)

## 2. 令和5年度 地域医療連携アンケート結果報告

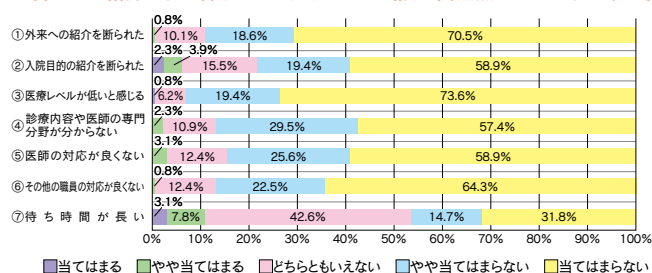
先日は、お忙しい中地域医療連携にかかるアンケートにご協力いただきありがとうございました。

アンケート結果は下記のとおりです。(アンケート回収率 298医療機関中131医療機関 回答 回収率 44.0%)

患者さんを紹介される際、どのような理由から当院を選んでいただいていますか。

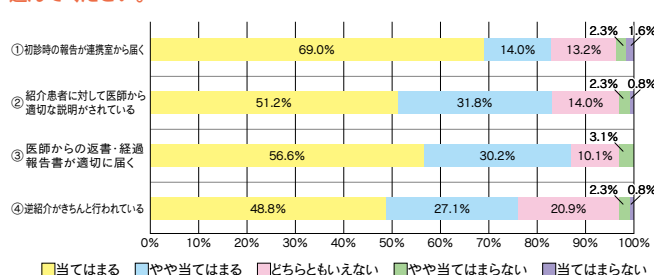


患者さんを紹介される際、どのようなことが当院の問題点と感じられますか。

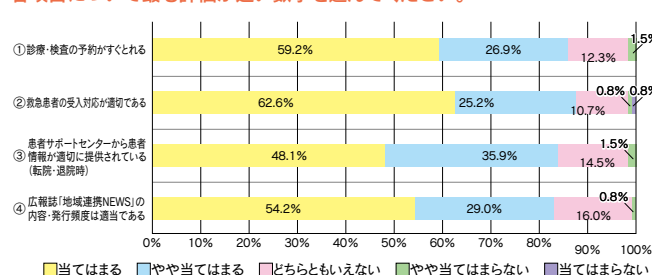


※こちらの設問だけ、回答の意味合いが他の設問と反対になっています。

患者紹介後の当院の対応について、各項目について最も評価が近い数字を選んでください。



患者サポートセンタースタッフの対応や患者サポートセンターの機能について、各項目について最も評価が近い数字を選んでください。





## アンケートのご意見

### 医師の専門分野が分かりにくい

今回「診療科の案内」冊子をリニューアルしました。来年度は年度の早い時期に発行予定です。

### 転院時に紹介元への連絡がないことがある

転院情報を紹介元へお届けできるよう、今後は事務と医師が連携し、現状の改善を行います。

その他返書については転科時、院内紹介時も含めて洩れなく対応できるよう業務フローを作成しております。

また、逆紹介を推進するため、外来待合ホール、各外来診察室に「かかりつけ医」と連携・協力して診療を行っていく旨のポスターを掲示し、スムーズに逆紹介できるよう患者さんの啓発にも努めています。

## 3. | 令和5年度 中国労災病院 地域医療連携懇話会を開催しました。



院長 栗栖 薫

令和5年9月21日（木）、約4年ぶりに地域医療連携懇話会を呉阪急ホテルで開催いたしました。

当日は、105名の皆様にお集まりいただき、第一部で当院の概況説明、この3年

間のトピックスとして、連携医療機関の皆様からのアンケート結果報告、昨年度当院に導入された内視鏡手術用支援機器（hinotori™）の紹介をさせていただきました。

第二部では、久しぶりにお会いする皆様との会話を楽しむ中、ステージ上では、当院診療科部長による各診療科の紹介、院内紹介動画（VR動画）の放映を行いました。

お忙しい中ご参加いただいた皆様には感謝申し上げます。ご参加できなかった皆様もまたの機会にお会いできることを楽しみにしております。

なお、今回の地域医療連携懇話会第一部の動画を右記より視聴いただけますので、ご案内申し上げます。

今後とも引き続き連携のほど、よろしくお願いいたします。



第一部会場



第二部会場

動画のURL：<https://onl.sc/shdHgJV>

パスコード：Nt+S7Ztw

視聴期限：令和5年11月30日（木）



## 4. HMネットで参照機関での同意取得が可能になりました。

### HMネットカードについて 「HMカード」ってどんなカード？

患者さんの医療情報を、複数の医療機関と結びつける「ひろしま県民のためのカード」です。

加入すると、病院や薬局で医療情報が共有され、スムーズな診療や安全な投薬が可能になります。

また患者さんが緊急時の備えとして「救命情報の登録」、「ヘルスデータ管理」が行える各種サービスもご利用いただけるようになります。

※広島県医師会HMネットカードホームページよりHMカード | ひろしま医療情報ネットワーク (hm-net.or.jp)

### 患者さんにとってのメリット

- 診療時間の短縮
- 適切な診療情報の伝達
- 緊急時の備えとして「救命情報の登録」や、「ヘルスデータ管理」が行える各種サービスの利用が可能

※広島県医師会HMネットカードホームページよりHMカード | ひろしま医療情報ネットワーク (hm-net.or.jp)

### 中国労災病院のHMネット開示項目

- 基本情報（アレルギー、病名情報等）
- カルテ情報（退院サマリ、看護サマリ）
- オーダー情報（処方オーダー、注射オーダー、検査オーダー等）
- 検査結果（放射線画像、放射線レポート、内視鏡検査レポート）

※詳しくはひろしま医療情報ネットワークをご参照ください

### HMネット今後の運用

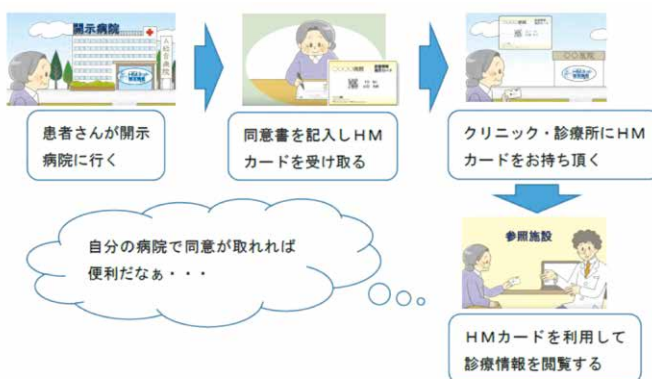
現在の運用手順に加えて、参照施設で対象の開示病院に通われている患者さんの同意を取り、開示病院へFAXを送信。設定完了のFAXが届くとHMカードがなくてもすぐに患者一覧画面から診療情報を閲覧することができます。

紹介患者さんにおいては、開示病院入院前にHMカードを作っておくと、入院中の患者さんの経過観察をすることが可能となります。

登録した患者さんのHMネットカードを後日参照施設へ送付いたします。

患者さんへお渡しいただきますようよろしくお願い致します。

#### 現在の運用手順



#### 今後の一部の開示病院での運用



※呉医療センター、呉共済病院、呉市医師会病院では運用中。  
→ 中国労災病院でもR5年10月から運用します。

申請用紙はHMネットHP (<https://www.hm-net.or.jp/joined/index.php>) に掲載しております。よろしくお願いいたします。

FAX送信先 0823-74-6260

## 地域医療連携ニュース第184号

〒737-0193 広島県呉市広多賀谷1-5-1 Tel.0823-74-0321 Fax.0823-74-6260

中国労災病院 患者サポートセンター <https://www.chugokuh.johas.go.jp/regionalPartner/>

発行日：令和5年10月10日

